



GATE

ゲート

4

Hiroataka Kisaragi

如月弘鷹





その日

——
時が来ました

目覚めなさい

修羅よ

ワレ
我の

GATE

プロローグ

貴様!?

どうやって
封印を...!?

兄弟たちヨ

我がタメニ
落ちヨ

我ハ

GATE

—プロローグ—

30年ぶりに世界の「扉」が開いた



オ
墜
子
ヨ

オ
墜
子
ヨ



オ
ニ
オ
ウ
魁
魁
ノ
王
ナ
リ



契・約

奴らは人と共に生きる
道を選ぶか

だがこれで
我が意も成せる

シ・タ



人間は面白い

何も知らずに
「門」を閉じようとする
者らも居れば

全てを知ってなお
「門」を開けようとする者も居る

——なあ
寂光？

——確かに貴方を
封じていた「天の門」は
開きました

だがまだ「地の門」がある事を
忘れないで下さい

二つの「門」が
開かなければ

貴方は完全には
解き放たれない

もう一つの「門」を
開けるには
彼らを育てなければ
なりません

四獣を使える
使い手と
「門」を支える「鍵」を

——
30年前

貴様ら8人が
我を『門』の向こうへ
封じた時のように？

……
貴方、は

その時
一人の使い手の
体に乗っ取り

そして
『門』の向こうへ
持ち去っていった
……

……そろそろ
返して下さい

『修羅』を

——その手を

そして

のぞ
どお
望み通り

ころ
殺してやろう

—
ああ

やくそく
ひ
約束の日が来たら

—
どうか
その手で

それが

……っ

どうした晃？

…うん

何だろ
急に胸が痛んで…

我・ラ・ノ・契・約・ダ

まるで

自分の中の誰かが
泣いてるみたいだ…

そして、いよいよ全てが終わる時が来る

Story

普通の高校生だった西条 晃、城北 力、南山 茂、齋東 一也の四人は、放課後突然の落雷に遭う。

それは何者かによって異世界への『門』が開かれた証であり、それによって『門』を守護していた霊獣・白虎、朱雀、青龍、玄武が彼らに憑依してしまったという。

『門』を管理しているという少女・修理によると、晃たちは既に死んでおり、それぞれの霊獣との一時的な契約によって生かされているらしい。生き残る術を探し訪れた高野山で、『門』開門の犯人である寂光と対峙。彼が再会を望んだ人物を吸収したと思われた“悪の集合体”・修羅との戦いを迫られる。しかし寂光が望んだ「修羅」は、晃の中に居た…！「悪の修羅」、そして四獣も操られ暴走し、過去の友たちも失われ、寂光はただ死を望む。喪失と絶望と巨悪が、高野を支配する中、晃たちは手に入れた絆と力で、最後の戦いに立ち向かう！



GATE 4



Contents

- 003 GATE 最終章—プロローグ—
- 012 GATE 第二十一章
- 045 GATE 第二十二章
- 069 GATE 第二十三章
- 101 GATE 第二十四章
- 121 GATE 第二十五章
- 145 GATE 第二十六章
- 165 GATE 第二十七章
- 203 番外編 四獣座談会④

第二十一章

GATE

ねんご
40年後に いちど おれ もう一度俺と あ ここで会え



そうだ たし 確かに俺は

